

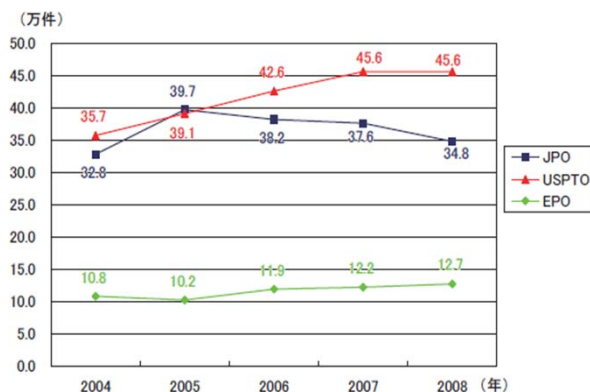
世界の知財が第一国として日本に入ってくる制度の構築 佐藤辰彦

企業活動へのグローバル化への呼応

- 企業は知財の世界的な保護を求めている。
- 知財の世界的レベルでの保護に向けて、日米欧中韓が保護のワールドセンターとなるハブとしての役割を巡って競争（例：韓国特許庁の「IP-Hub Korea」の動き）

日米欧のうち日本のみ実質特許出願件数減少

【三種特許庁の審査請求件数（JPO、EPO）・出願件数（USPTO）の推移】



出典 特許行政年次報告201

世界中の知財を日本に集めるため

日本が国際的な知財の保護のハブ機能を担う施策の推進が必要
— 日本がまだアドバンテージを有しているうちに戦略を加速 —

求められる改革

— 内外制度ユーザに魅力ある知的財産制度の実現 —

- 国内外の制度ユーザが使いやすい制度・運営を推進する。
- どの国よりも速やかな良質の知財の保護により国際的な保護のイニシアチブをとる。
- 国内外の制度ユーザに信頼される安定性のある権利が獲得できる環境を整備する。
- 途上国・新興国の知財インフラ整備の支援活動を推進する。